

希望坂(北中だより)

第15号 令和2年12月10日

みやき町立北茂安中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標

「**知性**・**感性**・**耐性**」を
自らたかめる生徒の育成

〒849-0113 みやき町大字東尾 4435

TEL:0942-89-2008 Fax:89-2079



◇新生徒会へ向けて◇

11月12日(木)に新生徒会長候補者の立会演説会と投票が行われました。6人の次期生徒会長候補者たちは、11月9日(月)からの選挙運動に応援者とともに取り組んできました。

各候補者と応援者の演説の素晴らしさに感動しました。原稿をほとんど見ないで、聴衆の心に届くような態度で、どういう学校や生徒会をつくりたいのかを分かりやすく情熱的に語っていました。昨年の立会演説会でもそうでしたが、その表現力の高さと堂々とした態度に驚くとともに、大舞台や本番での強さに北中生の伝統を感じました。「主張」+「根拠」+「詳しい実例」といった説得力のあるスピーチのやり方は、1年生にも良いお手本となったと思います。

各候補者の目指す北中像は、以下の通りでした。

○宮原百菜さん:「メリハリのある北茂安中学校」

○中島琴美さん:「“Work hard together”～北っ子みんなで『礼節・協力・熱意』～」

○荒島敬唯くん:「あたりまえのことをあたりまえにできる学校」

○護山心海さん:「Only one～みんなで作る北中ワールド～」

○末次朱莉さん:「身だしなみバッチリ!! 『早く学校に行きたい!』と思える北茂安中学校」

○北原蒼太くん:「みんなで磨こう!! 北中の光玉 知、感、耐」

その後の投票の結果、生徒会長に荒島敬唯くん、副会長に護山心海さんが就くことに決定しました。現在、生徒会規則にのっとり、2人を中心に新組織づくりが進められています。

◇令和2年度入学生への説明会◇

11月25日(水)、小学校6年生と保護者を対象に、以下の内容で入学説明会を行いました。

(1) 学校長あいさつ、(2) 生徒会による歓迎の言葉・学校紹介、(3) 教育課程について、(4) 中学校のきまりについて、(5) 食物アレルギーについて、(6) 校納金の振り込みについて、(7) 「まち comi 登録」について、その後 制服や体操服の採寸をしました。

参加の保護者からは、「生徒会の方の映像付きの説明がとてもわかりやすかったです。」(15人)、「わかりやすい説明をありがとうございました。」(18人)、「楽しい学校生活が送れそうな気がしました。安心しました。」(11人)など、肯定的な感想が多く寄せられました。

入学予定の6年生からは、「説明を聞いて中学生になるのが楽しみになった。安心した。」(40人)、「説明がわかりやすかった。」(9人)、「3つの柱、勉強・部活・生徒会を頑張ろうと思った。」(3人)などの声が寄せられました。4月には、6年生のみんなが元気に入式に来ることを、心待ちにしています。ご協力いただいた小学校の先生方、ご参加の保護者の皆様、ありがとうございました。



◇新しい給食室稼働◇

夏季休業中の8月1日から行われていた給食室の改修工事が11月で終わり、12月1日から新しい給食室での調理が始まりました。

再開第1回目の給食メニューは、みんなの好物の冬野菜カレーでした。翌日は豆腐の味噌汁に、温かい給食のありがたさをかみしめました。町当局や町民の皆さん、そして調理員さんに感謝の気持ちをもって食事を頂いています。

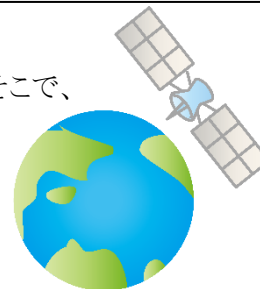
見学してみると新品の調理器具が、ピカピカに輝いていました。



◇グローバル社会と寛容さ◇

前回の全校集会では、出張のため「校長の話」をすることができませんでした。そこで、その折に話そうと思っていたことを掲載します。

最近よく耳にする**グローバルという言葉**には、どんな意味があるのでしょうか。グローブとは地球のことです。グローバルとは、地球規模の状態であることです。実際に食べ物についていえば、穀物、肉魚、果実などが輸入されています。衣類もそうです。メイド・イン・チャイナ、ベトナム、インドネシアなど目につくことがあります。たとえば、ユニクロは日本の企業ですが、世界各地から原材料を取り寄せています。携帯電話に不可欠なレアメタルは中国、南アフリカ、ペルーなど多くの国から輸入しています。**他の国と地球規模でかかわらないと、現代の生活は普通にできないような状態**になっています。



では、グローバル化の長所と短所はどんなことでしょうか。長所を思いつまま並べると、①お互いに繁栄していこうという互恵関係が築けること、②世界の異文化を理解することができること、③より良い製品づくり、より豊かな食生活などに発展できること、④気候変動など地球規模の問題に連携して対応できること、などがあります

逆に短所を考えると、①自国や自社の利益だけを追求するとトラブルを招くこと、②外国の企業に利益が流れ、自国に富の還元がない状態が生まれること、③食料や原料の多くを海外に依存していると、災害や病気などで輸入が止まった場合、困った状態になること、④世界が平均化され、文化や伝統の独自性が失われること、などが考えられます。

社会のグローバル化の流れは、もはや止められないものだと思います。生徒の皆さんは、そのような社会でこれから生きていくこととなります。世界の人々がともに幸福に生きていくためには、**先に述べた短所を補う知恵が必要**でしょう。それは、「寛容さ」ではないでしょうか。相手の文化や考えを理解し合い、過去の失敗は広い心で受け入れる心をみんなが持っていれば、円滑にいくでしょう。



理想論かもしれませんが、理想を追求することは大切です。そして**その基礎は、日常生活の中のお互いの人間関係の中で育てていくもの**だと思います。

◇授業におじゃま・研究授業◇

11月18日(水)に2年1組の数学(坂井教諭)の授業におじゃましました。本時のめあては、「**証明文の誤りを説明できること**」でした。

まずは、既習事項の確認からスタートです。「対頂角、内角、同位角、錯角、合同な図形」など、証明で使う数学的用語の意味を復習しました。

次にプリントで、「**2つの証明のうち誤りがあるのはどちらか**」を考えました。そして、その理由「**なぜ合同条件にあてはまらないのか**」を説明するように指示が出されました。

通常は「証明をせよ」という課題にしたがって問題を解き、○か×をもらうことが多いですが、この授業では、生徒が1つの選択のために「**思考して判断する場面**」が作られていたと思います。

さらに次の課題では、別の証明文の誤りを探す学習が組まれました。「**学ぶ必然性のある課題だからこそ、生徒が主体的に学ぶ**」ということが実践されたチャレンジングな授業でした。

この後に行われた授業研究会では、職員同士の熱心な議論がなされたことは言うまでもありません。子どもたちにとって力のつく授業づくりのために、先生たちも頑張っています。

① 右の図で、線分ABとCDが交点Oで交わっていて、
 $AO=DO$ 、 $\angle CAO=\angle BDO$ とすると、
 $CO=BO$ となることを下のように証明
 しましたが、左右の証明はどちらが強いです。

<p>証明1</p> <p>$\triangle AOC$と$\triangle DOB$で</p> <p>仮定より $AO=DO$ … ① $\angle CAO=\angle BDO$ … ②</p> <p>錯角が等しいので $\angle ACO=\angle BDO$ … ③</p> <p>①②③より 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので</p> <p>$\triangle AOC=\triangle DOB$</p> <p>合同な図形は対応する辺が等しいので $CO=BO$</p>	<p>証明2</p> <p>$\triangle AOC$と$\triangle DOB$で</p> <p>仮定より $AO=DO$ … ① $\angle CAO=\angle BDO$ … ②</p> <p>対頂角は等しいので $\angle AOC=\angle DOB$ … ③</p> <p>①②③より 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので</p> <p>$\triangle AOC=\triangle DOB$</p> <p>合同な図形は対応する辺が等しいので $CO=BO$</p>
--	---

◇今後の予定◇

- 12月10日 人権集会
各部委員会
- 15日 生徒会集会
新役員認証式
- 17日 交通指導
- 19日 土曜開校日
授業参観
- 20日 部活動休養日
- 23日 大掃除
給食終了
- 24日 終業式
弁当持参



